

えがお塾の取り組み
 ～芦別で暮らし続けるために～
 芦別慈恵園ケアプラン相談センター 小野省吾

1



なぜ、ひぐらし地区で始めたのか？

上芦別は、介護保険サービスがない地域

住まいや地域で暮らし続けることをいかに支えていくか

私たちの使命！

4

えがお塾の目的

1. 慈恵園の法人としての使命
地域のために役立つ
2. 地域の方に交流の場の提供

5

上芦別 ある地域のアンケート

- 一人暮らし 43%
- 配偶者と二人暮らし 30%
- 病気になる 85%
- 調理は簡単なもの 85%
- 日常の家事に困っていない 79%
- 一日何もしない・出来なくてよい 27%

(平成23年7月)

6

えがお塾の目的

1. 慈恵園の法人としての使命
地域のために役立つ
2. 地域の方に交流の場の提供
3. 自宅でいつまでも元気に暮らす

7

えがお塾のあゆみ

- 平成23年6月 ひぐらし教室 20名
- 平成24年5月 幸町教室 14名
- 平成24年11月 緑ヶ丘団地教室 13名

8

緑ヶ丘団地教室



9

えがお塾の根拠

法人基本理念

和顔愛語 人に優しい笑顔で、心は豊かに言葉は和やかに

経営理念

地域・家族・利用者のニーズに応えられる事業展開を行います
人材・介護力・環境を整備しながら安定した経営を目指します

介護理念

ひとり一人の生活や暮らしを大切にします
昼期の時まで口から食べる食事の工夫をします
ご家族と一緒に看取ります

10

えがお塾のもよう




11



体操のお姉さん 体を動かしリラックス

12



13

学習サポーターの
支援で、学習にも熱が
入ります。



14

サロンやハンドマッサージでは、生の声を聞き
ニーズを知ります。



15

自然な声にお答え
して始まった歌が
楽しみの一つに



16

えがお塾の妻 青柳ケアワーカー
みんなから頼られ慕われるお姉さん

えがお塾 成功のわけは？

- 役割を持ち、チームワークで取り組んでいる。
- スタッフが笑顔で応対し、気配りし話しやすい環境を作っている。
- 生活している地域・町内に直接出向き実施している。

17

お客様にとってのえがお塾とは？

【S様 男性 75歳 一人暮らし】

- 骨折後、訪問介護利用
- 平成23年からえがお塾に参加
- 徐々に歩行困難となり、退去の方向へ
- えがお塾だけは楽しみにして、心の拠り所

18

お客様にとってのえがお塾とは？ ②

【A様 女性 高齢で一人暮らし】

- えがお塾で関わる中で認知症があることが分かった。
- 近隣の見守りの中で生活
- えがお塾に参加し続けて、入居直前まで継続。

19

お客様にとってのえがお塾とは？ ③

【脳梗塞の夫を介護する妻】

物忘れの予防と交流のため、えがお塾に参加

【転倒骨折後間もなく再開した女性】

一人暮らしであるが、元気に生活を続ける

20

えがお塾での地域差

- ひぐらし地区 仲良く面倒見が良い。
- 幸町地区 仲間との関わりは浅い。
- 緑ヶ丘団地 この団地で最期まで暮らす覚悟



えがお塾参加の理由の違いが出る

21

ケアマネとしての関わりは？

1. 一人ひとりの生活を見つめ、その人に合った支援
2. 地域性も考慮に入れ、在宅生活を続ける視点を持ち続ける。
3. 民生委員など関係者への啓蒙・協力依頼

22

暮らしの中のえがお塾

- ひとり一人の生活への思いを知る
- えがお塾があるという環境
- 人のために心を砕く自分の気持ち

合致したところに最高の支援と暮らし

23



ご清聴ありがとうございました。